

労働者意識を常に持とう！

国労千葉地本運輸区統合分会 SOGA 班新聞

地本新春旗開き

1・13



この冬の寒空の下、避難所生活に必死に耐えている人がいる中で、京葉線内の快速が各駅に

なり、10分遅くなるとか大騒ぎしている連中がいますが、何なんだ？！
・・・・って思いました。
(恥ずかしいですか？)

会場では、本当に久しぶりに会う顔もあり「元気で何より！」と、盛り上がりました。
地本役員を筆頭に、参加者全員の近況報告となりましたが、酒を飲みながらメモも取れませんでした、殆ど覚えてませんでした(スミマセン)。

印象に残ったのは、保線OBの方の「県内には元組合員が大勢いるが、それをつなげていく取り組みをしたい。今までやってきた国労運動は、地域運動にも必ず活かされるはず」といった言葉に、もうすぐ定年を迎える自分は勇気づけられた思いでした。
あとは、来賓で出席されたエリア本部長の和賀聖司さん(下写真・八王子信通)と、飯田君ら若者たちの力強いあいさつを聞いたことが、この日の大きな収穫でした。厳しい情勢がまだ続きますが、仲間を信じ、自分の道を信じ、共に頑張りましょう！

1月13日(土)前段の寺尾さんの講演(13時～14時20分)に続き、同じみどりの寿司にて、地本旗開きが開催されました。

加藤委員長あいさつ
労働講座の際のあいさつにもありましたが、年明け早々、能登半島地震や、羽田空港での衝突事故など不幸な事故が続いてしまったことについて、被害に遭われた方々にお悔やみの言葉が述べられました。

参加者全員報告
地本飯田青年部長(大網保線)の乾杯の音頭で始まりました。乾杯のあいさつの中で、結婚の報

1月13日(土)前段の寺尾さんの講演(13時～14時20分)に続き、同じみどりの寿司にて、地本旗開きが開催されました。



この騒動は一体何なんだ?!

前代未聞のダイヤ改提案の修正

今年の3月のダイヤ改「正」での京葉線内の快速、通勤快速をめぐっての一連の騒動で、各自治体首长らの要望から、千葉支社は提案をくつがえし、一部修正するという前代未聞の対応がありました。

そもそもの要因は、JR 会社が組合提案をなくし、社員の声も無視する形で、ダイヤ改内容も含め、どんな色んな施策を勝手に実施させてしまっていることとあります。更には、今回のように地元各自治体や利用者の声も聞かなかったことで、どんなに叩かれても自業自得であり、猛省を促されるべきこととあります。利用者の様々な苦情は、現場で働く私たちにも向けられるはずで、憤りを感じます。

が、今回のこの各自治体首长らの言い分は、本当に京葉線を分かっているのか、甚だ疑問であります。

市民、あるいは県民の声として、鉄道に関する要望は議会に多少なりとも挙がっているはずで、定期的に JR 社員を招聘し、意見交換などを行なうべきで、そういう取り組みをしていればこんなお粗末な事態にはならなかったはずで、各自治体が JR に対して問題視すべき点は、もっともっと他にたくさんあると思いますが・・・あまりにも視点が狭すぎるような気がします。

今回の修正案が、今後悪しき習慣にならないことを願うばかりです。ちなみに修正案は、既に出来上がっているダイヤ上の2本の各駅停車を快速に直すだけなので、所要時間は・・・???ってことです。

☆ 団交では「支社は各自治体に説明に行ってます」という回答を繰り返していたようですが・・・アウト!!